

まちづくりネット ニュース (第8号)

新年号 2013. 1. 1

発行所 三芳町協働のまちづくり
ネットワーク運営委員会
委員長 山本 和男
三芳町藤久保 1100 番地 1
三芳町役場自治安心課内
電話 049-258-0019

第4回協働のまちづくり公開学習会

MIYOSHIまちづくり工房 II

アクションプランの報告とパネルディスカッションを実施

三芳町協働のまちづくりネットワークと三芳町協働推進本部では、昨年9月30日(日)午後1時から「MIYOSHIまちづくり工房 II」と名付けた第4回協働のまちづくり公開学習会を、三芳町立総合体育館研修室で開催しました。

まず、まちづくりネット(三芳町協働のまちづくりネットワーク)山本運営委員長、三芳町協働推進本部本部長の林三芳町長が開会挨拶を行い、その後公開学習会に入りました。

☆アクションプラン2012の概要を報告

公開学習会は2部構成で実施され、第1部では、

まちづくりネットの各分野代表者が、まちづくりネットと三芳町の協働事業計画として策定された「アクションプラン2012」について、それぞれが所管する部門の概要報告を行いました。

☆三芳町課長をパネラーにパネルディスカッション

第2部は、三芳町の協働推進本部員として協働に関係する部門を所管する課長5名をパネラーとして、「協働のまちづくりとまちの未来像について」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。今年度は、第2次協働推進計画の実施初年度ということもあり、三芳町の協働に対する姿勢を示す場として注目される企画でした。実施前には公務員が公開の場で積極的な発言ができるか危ぶむ声もありましたが、コーディネーターを務めた駒崎淑徳大学准教授が気軽に発言を引出すことに成功し、パネラーの発言はおおむね前向きで、中には踏み込んだ発言をするパネラーも見受けられました。

最後に行われた質疑応答では、まちづくりネットのメンバーからかなり厳しい質問も飛んでいましたが、「アクションプラン2012」で意思統一したまちづくりネットと三芳町協働推進本部との協働事業活動が、これからも順調に推移することが期待される内容であったといえるでしょう。



↑パネルディスカッションで、協働事業の現況について説明する三芳町の各課長

三芳町協働のまちづくりネットワーク

「三芳町協働のまちづくりネットワーク」は、人々の暮らしと自然が調和した三芳町の美しい風土を守り育てるとともに三芳町を自立した活力のあるまち、住民自らが誇れる魅力あるまちとして更に発展させていくために、住民と町がパートナーとして協働でまちづくりを進めていくことを目的に、条例で制定された組織です。この目標を達成するために、現在5つのグループが活動中です。

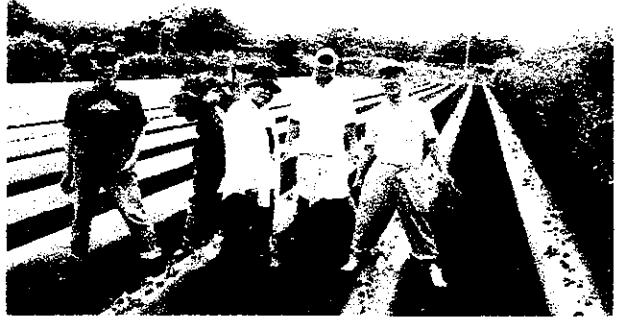
三芳の素晴しさを実感する体験

<産業観光グループ>

明けまして、おめでとうございます。

毎週水曜日と毎月第4土曜日に野菜市を開催している産業観光グループです。今年は、野菜市に加えて、我々の住む三芳町の素晴しさを皆様にお知らせする活動を充実させたいと思っています。東京にお勤め、ないしは卒業された方々に、農家の方々と交流を通して三芳町の素晴しさを実感していただきたいと思います。

1. 山掃き(すべて日曜日)：1月13日・27日、
2月10日(予備日2月17日)
2. 枝豆の植え付け：5月20日ごろ
3. さつま芋の植え付け：5月末



4. 枝豆刈り：8月最初の土曜日、日曜日
5. 世界一のいもほり祭：10月12日
6. 里芋の種いも掘り：11月初旬

今年の予定は、以上のとおりです。産業観光グループの仲間になり、自分の都合に合わせて、都合の良い時に参加しませんか？

<連絡先>産業観光グループ 代表 勝山 均

☎090-7009-3119 まで

「三芳の学校」に続いて 「町の自慢」を募集

<教育文化グループ>

町の文化を伝承するには、文化を知らなくてはならないので、「三芳の学校」を開きました。4月まで



「三芳の学校」の講義風景：書を使って何をしているの？

の4回は、藤久保公民館ホールで毎月第4土曜日の午後2時から、「旧石器から平安時代までの三芳の暮らし」、「鎌倉街道と関東武士」、「三富新田と武蔵野」、「三芳の伝統農業と意気込み」の4つの講義となります。

来年度は、「三芳の学校」の形を変えて「町の自慢」を募集し、町全体で町の良さを見つけようと企画しています。「広報みよし」を通してご案内しますので、自慢となるものを見つけておいて下さい。

また、学童保育室での出張寺子屋も続けていきます。子どもたちに寄り添って下さる方がいらっしゃいましたら、声をかけて下さい。

教育文化グループのいろいろなご案内は、三芳町役場1階エントランスホールの、協働のまちづくりネットワークPRコーナーにも掲示します。

<問合せ>教育文化グループ 藤崎まで

電話：070-6466-7124

メール：scv324@gmail.com

家族介護者の孤立化を防ぐ！ 「憩いサロン」を開設

<健康福祉グループ>

三芳町では、75歳以上の高齢者の増加率が全国で10位と極めて高く、今後、在宅で家族を介護する人が急増することでしょう。たとえ要介護4や5に認定されても、施設に空きがなく、入所できないことが考えられます。

家族介護者は、精神的、肉体的負担が大きく、既に限界を超えている人もいます。そういう人の介護の結末は、虐待か殺人か心中になる、といわれています。そうならないよう、精神的に追いつめないよう、孤立化しないよう、地域で家族介護者を側面から支援することが必要です。

健康福祉グループでは、家族介護者が気軽に集まり、リフレッシュする場として「憩いサロン」



を開設し、昨年は2回開催しました。このサロンでは、介護の苦労や悩み、心配事などを話し、情報交換や学び合いをすることができます。

介護をしている人と受けている人が、より質の高い生活と時間を共有できるよう心から願いながら、憩いサロンの活動に取り組んでいます。

保育所での交通安全教室

<都市安全グループ>



都市安全グループの今年度下半期の活動は、町立保育所の5、6歳児を対象とした交通安全教室開催の支援活動としました。

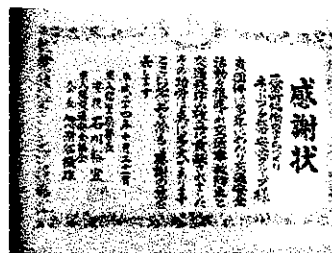
事前に三芳町のこども支援課、自治安心課、各保育所、それに東入間警察署交通課と日程調整を行い、必要な器具類やパンフレットなどの準備を行って、第1回を10月26日(金)に第1保育所で、第2回を11月2日(金)第2保育所で、第3回を11

月9日(金)第3保育所で開催しました。いずれの保育所でも、子どもたちの熱心な眼差しに、参加した婦人警官を始め役場の担当者や我々支援スタッフも感動しました。子どもの純真な心に強くアピールできたのではないかと思います。年度末までには民間の認可保育園でも交通安全教室を開催し、就学時の事故防止に少しでもお役に立ちたいと願っています。

この行事は、関係機関と協議した結果、来年度から定例行事として保育所、認可保育園で実施していくことになりました。町民の皆様も、ご協力下さいますようお願いいたします。

交通安全功勞で都市安全Gに感謝状

昨年10月21日(日)、まちづくりネット都市安全



グループに対し、平成24年度の交通安全功勞団体として、東入間警察署長及び東入間交通安全協会会長から、感謝状が授与されました。

あなたの豊富な社会経験と 体験をまちづくりに

<みどり環境グループ>

みどり環境グループは、身近な環境課題について行政へ提言をしたり、実践活動を行ったりしています。例えば、公園を使いやすくするためにどうするか、雑木林を次世代へ引き継ぐには何をやるか、ゴミの減量への取組み、生活の中で私たちができることは何か、などです。

雑木林の整備・保全是グリーンサポート隊、温暖化防止などの活動はエコ推進委員会で取り組んでいます。来年度は、身近な環境課題に取り組む予定です。私たちの身近にある樹木に樹名板を取り付けたり、エコクッキング教室を開催したり、また、まちづくりネットの他のグループとも連携して、幅広い課題に取り組みたいと思っています。住みよいまちづくりのために、住んでいる私たちが参加できる良い機会ですので、特に社会経験、体験豊富な、熟年の皆さんの参加をお待ちしています。



整備された雑木林では、シラカシなどの木の実もたわわに実る。

三芳町役場にPRコーナーを設置

昨年7月18日(水)、三芳町役場1階ホールに、三芳町協働のまちづくりネットワークのPRコーナーを設置しました。役場北側玄関を入った右手の壁面に90cm×3mのホワイトボードを取付け、まちづくりネット各分野グループの事業活動案内や通知などが張り出されています。ここには協働のまちづくりに関する情報が集約されていますので、三芳町役場へお出かけの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

親子で体験しよう!!



協働のまちづくりフェア2013



『協働☆みんなで 魅力あるまちをデザインV』

【日 時】平成25年3月3日(日)午後1時30分～4時30分

【場 所】藤久保公民館 ホール/みらい広場 ※入場無料

イベント

○子どもから大人まで正しいルールを身につけよう!!

「自転車安全運転教室」

○雑木林の恵みで昔ながらの遊びを体験しよう!!

「どんぐりを使った玩具作り教室」

○新鮮でおいしい三芳の季節野菜を販売!!

「みよしっ子やさしい市」

○町の豪華地場産品が当たる!?

「大抽選会」

その他にもたくさんのイベントがあります!!



まちづくりフェア2012の様子

「協働のまちづくりって何?」と感じたら、会場へ足を運んでみてください。